

よりよいサポートのために！

発達はったつの特性とくせいは、お子さんの個性ことして輝こせいく可能性かがやのある素質かのうせいですが、日常生活そしつに支障にちじょうせいかつをきたすことがある場合ししょう、特性ばあいを理解とくせいした子育てりかいと周囲こそだの支援しゅういが役しえんに立ちます。子どもは、不安感やくを抱えやすく、ストレスこをかわすことが得意ふあんかんではありません。共感的かかで冷静とくいな対応きょうかんてきが大切です。れいせい たいおう たいせつ



ケース5 かんしゃくを起こす

怒りいかを爆発ばくはつさせて人を叩ひといたり、大泣おおなきしたりする行動こうどうには、必ずかなら理由りゆうがあります。何らかの不安なんやいらだちふあんに耐え切れずた、感情きがコントロールかんじょうできなくなるため、本人ほんにんがもっともつらい思おもいをしています。

① 静しずかな所ところで落おち着つくの待まつ。

なだめたり、理由りゆうを聞きいたりせずに、感情かんじょうが収おさまるのを待まちます。自分じぶんで気持きもちを静しずめる練習れんしゅうにもなります。



② 気持きもちに寄より添そう。

落おち着ついた後あとで、話はなしを聞ききます。わけを確たしかめたら、「〇〇が嫌いやだったんだね。」と、必ずかなら気持きもちを受うけ止とめましよう。

③ よりよい行こうどう動おしを教おしえる。

正ただしい行こうどう動おしの仕しかた方おもや、思つたいの伝かたえ方おしを教おしえましよう。深しん呼こきゅう吸しゅうをす。静しずかな場ばしょ所いどうに移いどう動しゅうす。言葉ことばで伝つたえるなどほうほうの方ほうほう法ほうほうをシミュレシしゅうョしゅうンしゅうしておくと効こう果かてき的てきです。



④ かんしゃくを繰くり返かえしても、あき
らめない。

気持きもちは受うけ止とめますが、かんしゃく時じの要よう求きゅうは無む視しします。一いつ緒しょに感かん情じょう的てきにななりそそうな場ばあい合あいは、少すこし距きょり離りをとりましよう。



⑤ 家か族ぞくで同おなじ対たい応おうをす。

かんしゃくを起おこせば、言いい分ぶんを聞きき入いれてくくれると思おもわせないここが切たい要せつです。事じ前ぜんに家か族ぞく間かんで話はなし合あっあておおきましよう。

⑥ 他た者しゃを傷きずつけた場ばあい合あいは、必かならず
謝しゃ罪ざいをささせる。

理り由ゆうが何なんでああれ、暴ぼう力りよくは許きよ容ようせせず、相あ手てにききちんちんと謝しゃ罪ざいささせましよう。よよりよよい対たい人じん関かん係けいががつつくれるよようサさポポーートトしましよう。

